

平成21年度事務事業評価表	担当	教育委員会 学校教育課	内線等	1605
---------------	----	-------------	-----	------

事務事業名	生徒指導対策事業			
-------	----------	--	--	--

総合計画、市長マニフェストでの位置付け (該当しない事業については記入不要です。)

基本目標	4. 豊かな心と創造性を育むまちづくり	施策名	学校教育	
基本目標、施策に対する貢献度	2点 施策の達成にある程度効果があった			
市長マニフェスト	-			
市長マニフェストの執行状況	-			

事務事業の内容

対象(受益者)	市内小中学校児童・生徒		
手 段	児童・生徒の健全育成や魅力ある学校づくりを行う		
成果、目標	一人一人の児童・生徒が楽しく、安心して学校生活を送ることができる		

成果指標			
成果指標名	いじめの発生率	不登校の発生率	暴力行為の発生率
成果指標の説明	小 - 発生件数 ÷ 児童数 中 - 発生件数 ÷ 生徒数	小 - 発生件数 ÷ 児童数 中 - 発生件数 ÷ 生徒数	小 - 発生件数 ÷ 児童数 中 - 発生件数 ÷ 生徒数
指標の推移	平成20年度決算(実績)	平成21年度決算(実績)	平成22年度予算(計画)
成果指標	小 - 2.0 % 中 - 2.0 %	小 - 1.5 % 中 - 1.6 %	小 - 1.0 % 中 - 1.1 %
成果指標	小 - 0.34 % 中 - 3.6 %	小 - 0.28 % 中 - 2.9 %	小 - 0.22 % 中 - 2.2 %
成果指標	小 - 0.15 % 中 - 0.79 %	小 - 0 % 中 - 1.6 %	小 - 0 % 中 - 0.79 %

事業の概要

項 目	平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
いじめの発生件数	小 - 94件(4,684名) 中 - 49件(2,401名)	小 - 68件(4,556名) 中 - 38件(2,381名)	小 - 45件(4,508名) 中 - 25件(2,331名)
不登校の発生件数	小 - 16名(4,684名) 中 - 86名(2,401名)	小 - 13名(4,556名) 中 - 70名(2,381名)	小 - 10名(4,508名) 中 - 51名(2,331名)
暴力行為の発生件数	小 - 7件(4,684名) 中 - 19件(2,401名)	小 - 0件(4,556名) 中 - 38件(2,381名)	小 - 0件(4,508名) 中 - 18件(2,331名)

事業にかかる人工

(単位：人)

H20 人工計	0.37人	次長 課長級	0.07人	補佐級	0.30人	係長級		一般職		非常勤		再任用	
H21 人工計	0.46人	次長 課長級	0.11人	補佐級	0.30人	係長級		一般職		非常勤		再任用	0.05人

事業費 決算書、予算書に記載のある事業は決算書等の事業費を記載してください。(単位：千円)

項 目		平成20年度実績	平成21年度実績	平成22年度計画
人件費 を含む 事業費	事業費	1,650	1,176	1,176
	人件費	3,520	3,978	
	合計	5,170	5,154	
財源 内訳	特定財源	0	0	
	一般財源	5,170	5,154	

事業の仕分け

A 現行どおり市が実施	説明	市内小中学校が一貫した児童生徒指導の強化充実を図り、家庭や地域社会との密接な提携を基盤に、市民総ぐるみで青少年の健全育成に取り組むために市が実施する。
-------------	----	---

必要性

必要性	A 市が実施すべき
-----	-----------

効率性

効率性	A 投入された予算、人工に十分見合った成果をあげている
-----	-----------------------------

総合評価

総合評価	A 現在の事業の進め方で十分効果があがっている
------	-------------------------

改善点、問題点等

過去の改善点	平成18年度より「あすなる親の会」を「不登校を考える親の会」とし、あすなる教室へ通級・入級している子の親だけを対象とするのではなく、不登校に悩む親の会として参加していただき、参加者の増加を目指してきた。今後もこの体制を維持し、不登校問題に取り組みたい。
現在の課題、問題点	不登校児童・生徒への対応とともに、発達障害の児童・生徒への対応も考えたい。そのために個への指導の充実が必要である。カウンセラー、相談員の人数を増やしたい。特に小学校におけるスクールカウンセラーの全校配置を要求したい。
今後の改善計画	個への指導の充実を図る在り方の工夫をしたい。